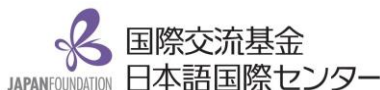


文法の教え方

Unit 2 実践 Part 2 インプット理解の練習



はじめに

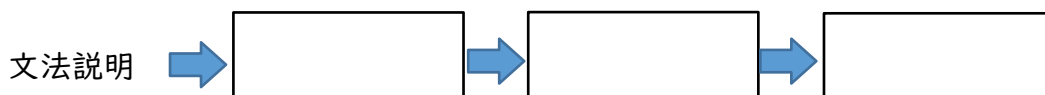
このパートでは「インプット理解の練習」を取りあげ、理解の確認の方法が異なる 3 種類のインプット理解の練習を紹介します。

1. インプット理解の練習

インプット理解の練習とは、新しい文法項目を含んだ文を聞いたり読んだりして、その項目に気づき、意味をよく考えて理解するための練習です。学習者は文脈・場面のあるインプットを聞いたり見たりして、その意味を考え、理解することで、アウトプットする力をたくわえていきます。そのため十分にインプット理解の練習を行うことは大切です。

【タスク 1】

文法指導の中で、インプット理解の練習はどこで行えばいいでしょうか。a-c の文法の活動を適切な順に並べて、いつインプット理解の練習をしたらいいか考えてみましょう。



a. インプット理解の練習 b. コミュニケーションのための練習 c. 文型練習

2. インプット理解の練習の流れ

インプット理解の練習を行うときに、教師がすることは次の3つです

①文法項目の入っているテキストや会話例を用意する

自分が使っている教科書や、他の教科書や教材、または、^{なまそざい}生素材などから、^{てきど}適度な長さのテキストや会話例を探してみましょう。

②上のテキストや会話例を学習者に^{おんせい}音声で聞かせたり、文字で読ませたりする

③テキストや会話例の意味を理解しているかどうかを、確認する

インプット理解の練習なので、文法項目を話したり書いたりする必要はありません。そうしなくても答えられるように理解を確認する方法を工夫します。

3. インプット理解の練習の例

ここでは、インプット理解の練習例を3つ、紹介します。

<<練習 A>>

^{うけみ}受身表現を例に練習を紹介します。受身表現の説明を聞いた後、これからインプット理解の練習をするところです。

まず、学習者に次のような会話を、文字を見せずに聞かせます。1回目に会話を聞かせるときには、話の大まかな内容と^{ないよう}注意して^{ちゅうい}聞いてほしいポイントを伝えます。



ジョンさんは田中さんのホームパーティーに行きました。
そのことについて、佐藤さんと話しています。

どんなパーティーでしたか？

受身表現に気をつけて聞いてください。

ジョン：先日、田中さんのうちのホームパーティに誘われて、行ってきたんだ。
たくさん食べて飲んで、楽しかったよ。カラオケもやったんだ。

佐藤：そう、ジョンさんも歌ったの？

ジョン：うん、歌ったよ。でも得意な歌は、他の人に歌われちゃって・・・。
仕方なく、学校で習った日本の歌を歌ったら、みんなにほめられたんだ。
でも、最後に間違えたから、田中さんに笑われたけどね。

佐藤：そう、よかったね。日本の歌が歌えるなんてすごいね。

ジョン：うん、間違えた時は、恥ずかしかったけど、歌えてうれしかったよ。

次に、もう一度会話を聞きます。2回目を聞くときは、学習項目の文法に気づいてもらうように、次のような指示^{しじ}を出すといいでしょう。



今度は受け身表現がいくつあったか数えながら聞いてみましょう。

そして次に会話の文字を見せます。学習項目の文法については、先ほどとは異なる指示を出して、注意させます。



受け身表現に下線を引いてみてください。

そして今までのインプットが正しく理解できたか、次のような意味の理解の確認を行います。

この練習では、学習者が理解しているかどうかを、○×で答えてもらって判断^{はんだん}します。その際^{さい}、
答えを確認しながら、受け身表現が使われている文の意味/機能などを確認します。

意味の理解の確認方法: ○×で答える。

- ① ジョンさんは、田中さんをホームパーティーに誘いました。()
- ② ジョンさんは、得意な歌が歌えなくて残念でした。()
- ③ 田中さんが歌を間違えたので、ジョンさんが笑いました。()

<<練習 B>>

練習 B も会話を使いますが、この練習では、絵や図も使います。「～ところ」を例に、練習を紹介します。

まず、次のような会話例を見せます。

- ① A: もしもし、今、電話、大丈夫？
B: あ、今、ラーメン食べているところだから、15分後でもいい？
- ② A: もしもし、今、電話、大丈夫？
B: あ、これから、ラーメン食べるところだから、30分後でもいい？
- ③ A: もしもし、今、電話、大丈夫？
B: ちょうど今、ラーメン食べたところだから、大丈夫だよ。

次のように、会話の状況や、内容の理解に関する質問をしてもいいでしょう。



Bさんのところに、Aさんから電話がかかってきました。

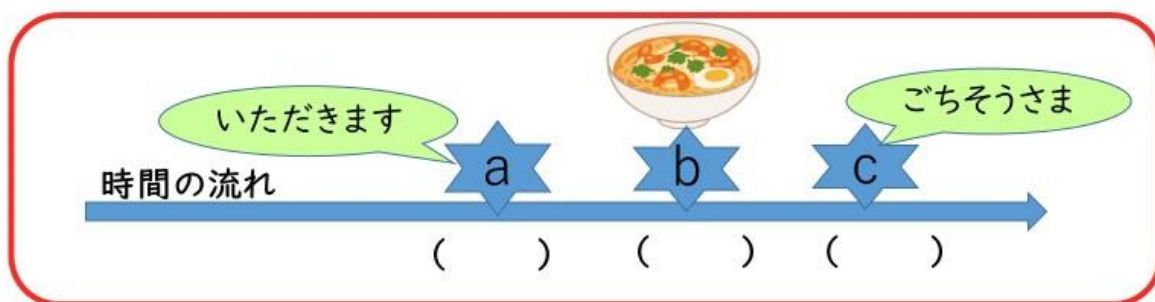
Bさんはこのまま電話で会話を続けられますか？

次に、会話の中にあつた、「～ところ」について考えます。下のような例文と図を見せて、①～

③の例文は、時間を表す図の a～c のどれにあたるか聞きます。



- ①今、ラーメンを食べているところ です。
- ②これから、ラーメンを食べるところ です。
- ③ちょうど今、ラーメンを食べたところ です。



このように練習Bでは、学習者が理解しているかを例文と絵／図を使ってマッチングさせて確認しました。

<<練習 C >>

練習 C では、教師が学習する文法項目を含んだ質問をし、その反応を、学習者の動作で確かめます。

例えば、最初に「自分がそうだと思う人は手をあげてください。」と、学習者に反応の仕方^{しかた}を伝えます。そして次のような質問をします。

例1: テストで 100 点をとったことがあります。

例2: ^{たんじょうび}誕生日に、バラの花をもらったことがあります。

例3: 日本の映画を見たことはありません。

教師は本当に学習者が意味を理解し、自分のことを答えているのかどうかは判断できません。そこで、さらに^{ついか}追加質問、「バラの花は誰からもらいましたか?」「どんな日本の映画を見ましたか?」など、^{ぐたいてき}具体的な質問をするなどの^{くふう}工夫をするとよいでしょう。

練習 C は、学習者が自分の本当のことを答えるので、日本語で自分を表現できる楽しさがあります。そして、クラスメイトの答えを聞くことで、^{たが}お互いのことがわかる楽しさもあります。

【タスク2】

今まで紹介した練習A～Cの活動の仕方をまとめましょう。下のa～eから適当なものを選んで書いてください。同じものを2回選んでもいいです。

	練習 A	練習 B	練習 C
インプットの種類			
理解の確認方法			

a. 会話 b. 学習者の動作 c. 絵や図 d. ○や× e. 教師の質問

【タスク3】

「自分がそうだと思う人は手をあげてください。」に、3つの例文（例文「テストで100点をとったことがあります。」「誕生日に、バラの花をもらったことがあります。」「日本の映画を見たことはありません。」）がありますが、皆さんのクラスでは、他にどのようなことを聞くとよいですか？「～たことがあります/ありません」の文法項目を使って、例文を考えてください。

4. まとめ

このパートのポイントをまとめます。

1. インプット理解の練習とは、文法項目を含む文を聞いたり読んだりして、意味を理解する

練習

2. インプット理解の練習は、文法説明の直後^{ちよくご}にする。

3. 学習者がインプットを理解しているかどうかは、○×や絵や図と文のマッチング、そして体を使った反応、動作などで確認する。この段階ではその文法項目を話したり書いたりする必要はない。

皆さんも、書いたり話したりといったアウトプットさせる練習をする前に、インプットを^{あた}与え、その意味を理解して反応させる練習、「インプット理解の練習」を取り入れてみましょう。

インプット理解の練習を十分行くと、学習者のアウトプットの力が育っていきます。

■ このパートの^{さんこうぶんけん}参考文献と参考サイト

- ・ 国際交流基金(2010)『文法を教える』(国際交流基金 日本語教授法シリーズ 4) ひつじ書房
- ・ みんなの教材サイト <https://www.kyozai.jpf.go.jp/>

■ タスクの答え

【タスク 1】 $a \rightarrow c \rightarrow b$

【タスク 2】

	練習 A	練習 B	練習 C
インプット種類	a	a	e
理解の確認方法	d	c	b

【タスク 3】 (答えなし)